



令和元年度「新しい東北」交流拡大モデル事業(地域型)選定結果

令和元年度 福島県交流拡大モデル事業

- 「新しい東北」交流拡大モデル事業（地域型）では、とりわけ被災沿岸部等への外国人旅行者の誘客を促進するため、民間の新たなビジネスモデルの構築を支援します。
- 福島復興局では、全国的なインバウンド観光客急増の効果を県内にもたらすべく、昨年度より、「福島県交流拡大モデル事業」を通じ、インバウンド誘客に向けた支援を行ってまいりました。
- 今年度事業においては、8 の提案の中から3 の提案を選定しました。昨年度に引き続き、福島県の観光復興の促進をすべく、インバウンド向けプログラムの開発・販売までを見据えたビジネスモデルの立ち上げを目指します。

今回、平成 31 年 4 月 19 日から令和元年 5 月 24 日までの期間で本事業に係る提案の公募を行いました。

応募提案について、企画審査委員会において厳正な審査を行った結果、下記の提案を選定いたしましたので、お知らせいたします。

(詳細については別紙参照)

【震災学習型】

- ホープツーリズム海外誘客事業（株式会社東北博報堂）

【風評払拭・魅力発信型】

- 福島沿岸部周辺地域における魅力発信のための外国人個人旅行者向け旅行造成事業（株式会社ネットワーク）
- Fukushima を Samurai の聖地に～“Samurai”をキーワードに外国人の交流人口拡大を目指す～（東武トップツアーズ株式会社）

問合せ先：

復興庁福島復興局観光担当 藤原・坂田・生地・中野

電話番号 024-522-8513

令和元年度 福島県交流拡大モデル事業選定案件**【震災学習型】**

○提案名：ホープツーリズム海外誘客事業

事業者：株式会社東北博報堂（協力：株式会社 wondertrunk&co.、福島県観光物産交流協会、福島市観光コンベンション協会等）

概要：津波・原子力災害による被災地域の復興の現場や再生可能エネルギーの取組について学ぶ外国人旅行者向け体験プログラムを造成し、個人旅行者や学生などをターゲットとして販売することで市場の評価を通じた実証を行う。具体的には、受入態勢整備のためのガイド研修、海外販路検証のためのモニターツアーやワークショップを通じた宿泊型及び日帰りツアーの造成・販売等を実施。

【風評払拭・魅力発信型】

○提案名：福島沿岸部周辺地域における魅力発信のための外国人個人旅行者向け旅行造成事業

事業者：株式会社ノットワールド（協力：J-village、富岡町 3.11 を語る会、株式会社ライフブリッジ 等）

概要：風評払拭、消費拡大を促進すべく、震災の学習要素に留まらない 12 市町村周辺地域の新たな魅力の発信に繋がる観光コンテンツを組み込んだ宿泊型ツアーの造成・販売及び既存の日帰りツアーの拡充をする。具体的には、ガイド育成・プロモーションのためのモニターツアー、インフルエンサーと協業した宿泊型ツアーの造成・販売等を実施。

○提案名：Fukushima を Samurai の聖地に～“Samurai”をキーワードに外国人の交流人口拡大を目指す～

事業者：東武トップツアーズ株式会社（協力：劔伎衆かむろ 等）

概要：中通り・浜通りにおける「義」を感じられる福島の Samurai に関する観光コンテンツを整理し、旅行商品の造成・販売をする。具体的には、コンテンツの整理・磨き上げ、外国人受入強化のためのセミナー・パフォーマーの育成、FAM ツアーを通じた海外旅行会社との旅行商品の造成・販売等を実施。